

第8回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

公表議事録

日時：平成29年10月26日（木）午後2時～
場所：稲敷市役所本庁舎 3階北321会議室

進行・時間	発言内容
1. 開会	
事務局	大変お疲れ様です。外部評価委員会第8回の会議を始めたいと思います。委員長ご挨拶をお願い致します。
委員長	特にありません。よろしくお願い致します。
2. 評価の取りまとめ	
委員長	前回、判定を行っていない事業が1つありました。
事務局	資料2の16ページ、収納事務の取りまとめです。
委員長	<p>これは、4対1ですから、「おおむね適正」である、でよろしいでしょうか。もっと頑張れという文章がついて、おおむね適正という形で整理していただければそれでいいと思います。</p> <p>今日は取りまとめの中身についてどう整理していくかということですが、事務局と少し話をしました。中身そのものというよりは、どのように最後まとめるかについてです。</p> <p>通常は、総評といって、最後にどう評価するかという文章がつくのですが、それをどうまとめるかという話をしました。なんとなく機械的に事務局の方で整理をしていただいて、カテゴリごとにこうでああでどうでした、というのもまとめ方かもしれませんが、やはり外部評価ですので、我々がこれを通してどのように感じたのかというのを、長い文章は要らないと思いますが、それぞれ原稿用紙1枚400時程度の中で、感じたことを書いていただければ一番いいと思います。</p> <p>その内容を報告書の最後につけて、それを読んでいただいて次年度に備えていただくという形をとるのが1番いいと思いますが、どうでしょうか。</p>
委員	名前は各委員それぞれですか。
委員長	<p>委員の名前を出すことになると思います。何人かで評価している場合に、人数があまり多いとそれぞれというのではないです。今までの経験からいうと、2人ないし4人くらいまでは、私が原稿用紙3枚で4枚書くとすると、1枚ずつ書いてもらう。本当に自分が思った単純な部分だけをさっと書いていただいて、ということでもいいと思います。</p> <p>こういう部分が気になったとか、そういうことを書いておいていただけると、それが1番いいのかなと思います。</p> <p>我々は頑張れ応援団ではない。見逃さないぞ応援団なので、そういう趣旨でどうでしょうか。</p> <p>事務局では7日の報告書には載せたいということです。日程の打ち合わせもしましたが、7日までと言うことです。今日は26日ですよ。7日は火曜日だから10日ぐらいしかないですね。頑張って1週間ぐらいの作</p>

	業でお願いしたい。メールでやりとりができる環境にはなっていますよね。
事務局	はい。
委員長	極端な話、手書きで提出しても構いませんか。
事務局	大丈夫です。
委員長	<p>何らかの形で事務局に提出する。あと、事務局へのお願いは、時間がない作業なので、趣旨は曲げないで、日本語でない部分は日本語に直してもらおうぐらいのつもりで整理をしていただく。</p> <p>我々はとりあえず何かの文章を思ったことを提出してください。そうすれば、日本語に堪能な方がきちんと翻訳して綺麗な文章をお願いします。様式もなしで、そのままメールでもいいし、ワードで添付でもいいということで、よろしくをお願いします。</p>
委員	委員長は何枚くらい書きますか。
委員長	<p>どんなに多くても2枚くらいです。</p> <p>それをお願いして、それが最後に入ってくるということで、外部評価の報告書の中身についてご相談したいと思います。</p> <p>報告書（案）の説明を事務局お願いします。</p>
事務局	<p>事務局から説明をいたします。</p> <p>報告書の1ページをご覧ください。最初に、稲敷市の行政評価について書かれております。</p> <p>内容は、第二次総合計画が策定され、5年間の計画がスタートする前期基本計画に合わせて、事務事業評価や内部評価、外部評価に着手したこと。そして、PDCAサイクルの構築を目指すこと。</p> <p>今年度は、平成28年度の事務事業に関わる評価の実施を行い、具体的には、外部評価制度を導入して、その外部評価の結果を来年度予算の編成に活かしていくことを書かせていただいております。</p> <p>1番、稲敷の行政評価について何かご意見ございますか。よろしいでしょうか。</p>
委員	説明だけですよね。
事務局	<p>はい。</p> <p>次の2番には目的も簡単に書かせていただいております。</p> <p>3番には外部評価設置要綱に基づき設置された外部評価委員皆様の名簿を記載しております。備考欄には、任期の2年の期間、委嘱させていただいた8月31日から31年の8月31日までの期間を書いております。</p> <p>2ページをご覧ください。対象事業の選定ということでこちらにフローをつけております。</p> <p>今回の外部評価委員会において32事業選定しておりますが、その32事業を選んだ選定のフロー図となっております。</p> <p>各課で作成した実施計画書の中で、平成28年度からの継続事業が317事業ありました。1)として、この中で政策的な面での評価が難しい、経常的・義務的事業や、法定受託事務・自治事務は対象外としたので154事業となります。</p> <p>2)として、事業費が少額な事業、人件費を除く年間事業費の平均が100万円未満の事業を除くと97事業となります。</p> <p>3)として、その97事業の中で、外部評価委員会で選定された事業が</p>

	<p>32 事業ありました。こちらのページに選定のフローについて書かせていただいております。</p> <p>3 ページをご覧ください。3 ページには外部評価委員会の日程や内容について書いております。11 月 7 日予定の報告まで日程を書かせていただきました。</p> <p>6 番は外部評価の流れについて、事業担当課が概要説明をして内部評価の結果や内容について説明を行い、各委員から質問を受ける形で外部評価を行ったことを書いております。</p> <p>4 ページから 5 ページにかけては、7 番の外部評価対象事業が第 2 次総合計画の基本目標の体系に合わせたような形で照らし合わせやすく記載しております。各対象事業については目次のようにページ番号と担当課が記載しております。</p> <p>6 ページには、8 番の外部評価の結果で、どのような形で外部評価の判定を行ったか、各委員が評価した「評価シート」や意見をまとめた「評価シートの総括表」の記入例を添付しております。</p> <p>7 ページ目から 32 ページにかけては対象事業を 1 つずつ「評価の結果」「評価理由」「委員からのご意見」を入れ、結果をまとめております。</p> <p>評価理由については事務局で取りまとめさせていただきましたが、各事業について 1 つ 1 つ確認したほうがよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>この確認作業は時間がかかりますよね。それぞれ自分で気になったところでいいので、7 ページ以降は読んでいただいて、意見があれば同じく 2 日までに意見を届けていただく。それで具体的な内容の見直しが必要なことや、表現上のことなら表現ではこういう意見があったというのを、私と事務局にお任せいただいてもいいですか。</p> <p>指摘はなるべくしてもらったほうが良いです。その結論は私と事務局の間でやります。</p> <p>そこまでだったら「一部見直し」ではなくてやめた方がいいのではないかと、というような、「概ね適正」が、「一部見直し」になる場合もあるかもしれない。そういうことも含めてお願いします。</p> <p>あとは文章ですよ。このことを入れて欲しいとか、この言葉が抜けているとか何かあれば事務局に話してください。</p>
委員	<p>よく見せてもらいましたが、ほとんどもれなく抽出してあったので、あとは評価理由の取りまとめだけかなという気がします。</p>
委員長	<p>気になったら、言い忘れたことも加えてもいいですからね。報告書の段階で最終的なものになるので、そこでいい形になっているのが一番いいので、気になったことがあれば言っていただいて、場合によっては入れ込むということで、完成形にしたいと思います。それも 2 日までということでお願いします。このページ数を読むだけでも結構大変ですので。</p>
委員	<p>こういうところをまとめてくださいね、と委員長がいつもおっしゃっているじゃないですか、その辺が網羅されているのが多かったです。</p> <p>これでいいのかなと個人的に思っていますが、もう一回よく熟読してみます。</p>
委員長	<p>この 22 ページまではとりあえずは読んでいただくということでお願いいたします。</p> <p>この評価結果の一覧が 23 ページにありますが、このページまでカラーを使いますか。</p>
事務局	<p>カラーでなく白黒でもいいです</p>

委員長	カラーを使うなら、適性とはいえないにだけ赤をつけるとか。
事務局	評価結果に色をつけましょうか。
委員長	<p>薄い色でいいと思いますが、色が使えるなら、はっきりさせたほうがいいかもしれない。</p> <p>「概ね適性」と「一部見直し」の意味は大きく違う。本当は「一部見直し」の中でも3色ぐらいある。こういう資料を作るのは、担当課が大丈夫なのか大丈夫じゃないのを確認してもらおうと意味が大きい。</p> <p>その後に総評として入っていくという形になると思います。</p> <p>資料3にある、概ね適性16事業、一部適正15事業、適正でない1事業というのは、23ページの上か下に入れていただいたほうがいいと思います。そうすると、見直した結果、概ね適正が半分だったが、半分は何らかの整理が必要だった、1事業については適性とはいえないという判定になりました、というのが総評の結論なので、そこをわかるようにしていただくと良いです。</p> <p>後は、結果を報告しますということで、各委員名を出して文章が入っていきます。</p> <p>最後に、事務局でまとめの文章を載せてください。委員の文章が5人分並んだ後に、16事業を見たところの結果をそれぞれの課で処理してどう活かしていくのかということを経理局として書いて最後まとめとしてしていただけると一番いいと思います。これがまさしく報告書でそれぞれ5人が書くので、市長に報告するときは、そのことについて、概ね適正が16で一部見直しが15、適正といえないが1事業ということで、自分はこう思いましたというのをざっと言います。</p> <p>その後、それぞれ各委員がこうでしたということを書いて、市長への報告は終わるという形です。口では短く言って、文章はここに載っているという形で、報告するというのでいかがですか。普通はもっともらしい鑑が1枚つく。それを読みあげたりする。そういうことはしなくてもいいように、これだけあればいいと思います。</p>
委員	本来だったら鑑をつけたほうがいいと思う。市として鑑があったほうが良いのであれば、委員長が市長に読んでもらうのもいい。
委員長	それは報告書に入っている。
委員	それは確かにそうですけども、それが必要であれば。
事務局	そうすると今委員長からお話があったように、委員さんそれぞれにご意見をいただきつつ、今あるような報告書にまとめます。
委員長	市長に、この報告書にまとめましたということで、渡すときは委員としての総評が後ろについておりますと。個々の内容については、それぞれ各委員から言ってもらおう。
事務局	まず報告書を渡して、その後各委員から一言お願いいたします。
委員	1、2分程度ですか。
委員長	<p>私は疲れてしまうので本当に短くていいと思う。自分が書いた肝の部分だけ、このことを強く感じたのでよろしく申し上げますとえばいいと思います。</p> <p>自分の考えの中に、何が何でもこうして欲しいというのがあれば入れてもいいと思います。</p>

委員長	あくまでも、半分が「適正」、半分が「見直し」もしくは止めたほうが良いという話のあと、それぞれが感じたことをさらに具体的にだったり多く語ったりという話があって、それで終わりでいいのではないのでしょうか。
事務局	1時から3時まで市長の日程おさえてあります。1時半くらいからということでもよろしいでしょうか。
委員長	1時間もいないのではないのでしょうか。形式的にやってしまうより、それぞれが具体的に話したほうが、いいのではないのでしょうか。
委員	各委員が自分達の総評部分をかいつまんで話をするという形ですね。委員長がおっしゃったように、こういうところをもっとしたほうが良いという考えを総評に入れるのであれば、私達はそれを2分ぐらいで話すということでもいいと思う。
委員	写真は撮りますか。
事務局	写真撮影はさせていただきます。
委員長	そのような感じでいかがですか。報告書の件はよろしいですか。あとは、次年度に向けて話しがあります。まず時期の問題です。評価としては、今やっている平成29年度の事業の結果を受けて、それがどうか。もしくは、今やっている中ではこのように変えていくとか、次の年度に反映させるとか実施計画に載せ直すとか、そういうことを考えると、予算が終わって特別議会も終わってから委員会を開催するのが1番いいと思う。委員会の開催は6月を外し、7月上旬におくれば大丈夫でしょう。そうでもないですか。
委員	7月は1回くらいならなんとかありますが、1回ないし2回が限界かと思えます。
委員長	どちらにしても最初は今回と同じように、具体的な中身に入らないでしょうから、それを午前にやらせていただくとか。
事務局	事務局で想定していた第1回会議の内容は、評価対象の事務事業の選択方法についてです。事務局で前もって各委員に資料を渡して、選択の方法は決めていただき、皆さんで選択してもらえればと考えております。
委員長	<p>どちらにしても、選ぶ選ばない関係なしに、調書そのものは全体の事業数があがるわけですね。そういう意味では、今回の32事業は報告を貰わなくてはならないと思います。そのうちの16事業は「概ね適正」としているのだから簡単ですね。</p> <p>しかし、「一部見直し」「適正とは言えない」事業については、再度、ヒアリング対象として報告をしてもらわないといけません。</p> <p>どこをどう直したとか、どういうふうに組み替えたかとか。外部評価委員会で指摘しているのは、平成29年度は半分以上過ぎた時点で指摘しているわけだから、来年になっても中身は変わっていないと見直しを検討していないことになる。</p> <p>ただ、平成30年度ではこういうふうに組み替えていくとか、そういう話を16事業については聞かなくてはならないので、その事業のヒアリングで1日、2日必要になってしまう。</p> <p>最初にやるのか、最後に入れるのか、時間があれば同じ課のところでやってしまうのが1番いいわけですが、それは新しいものに加えてその事業が追加される。ただ、通常よりは短めに時間を設定しなければならないと思います。</p> <p>それできっと2回目の方が、少し厳しく見ようとする、1部見直しだったのにやめてしまったほうが良いとなるかもしれない。そのことを考え</p>

	<p>て、数は20事業くらいしかできないのかもしれない。その辺りも考慮して全体としてプログラムを考えましょう。</p> <p>全体の流れ、スケジュールを皆さんで集まって決めますが、その前になんとかプランを作って回すというのが必要だと思う。それぞれのスケジュールで整理しないといけない。その辺は後で一緒に作りましょう。</p>
委員	<p>いいですか。市長への報告が11月7日ですが、担当課からは忙しかったとか無理だったとかいう声は聞こえてこないですか。</p>
事務局	<p>もちろん今までにやっていない作業なので大変な面もあったようです。</p>
委員	<p>委員長がおっしゃったように7月の中下旬あたりからスタートして、最初にどうやったらいいかというのがある。あと、今年度32事業評価したのを、まずどういう風に見ていくか。そういうのが終わってから、97事業が今年変わらなければ、その中の32はもう取り置きしているわけですから、その他からどのぐらいヒアリング対象とするか。</p> <p>そのようにやっていくという解釈でよろしいですか。</p>
委員長	<p>3年で終わらせてしまえばベストです。そうすると同じ目で対象97事業を全部見られたという話はできます。</p>
委員	<p>97事業を全部見た方がいいと思う。</p>
委員長	<p>97事業が基本的な選定の範囲だとすると、それは全部見たよという形をとれば、違う人が違う目で見える前に、同じ目で全部見たという話に持っていくことができます。</p>
委員	<p>32、33事業ずつ見ていけば3年でとりあえず見られるという形になる。</p>
委員長	<p>今年指摘したものが来年もできて再来年も出てくると話になるかもしれない。</p>
委員	<p>それは、追跡というか、自分達がこういう評価をしたので、市の内部評価と若干違う部分もありますが、それを予算に反映させるために内部外部評価をしているわけですから、それを減らすとか増やすとかいうのは別にしても、どんな形跡をたどってきて、その事業がアップしているのかダウンしているのかという見極めもありますよね。</p>
委員長	<p>稲敷市の職員は評価に対してあまり敏感に感じていない。敏感な市町村は、1年目にこういう指摘をすると内部評価が甘いという話が出る。そうすると、2年目にすごく厳しい内部評価になったりする。稲敷市はそれほど感じていない。</p>
委員	<p>来年度の予算編成はこれからですよ。</p>
事務局	<p>今やっているところです。</p>
委員	<p>外部評価もそれに反映しますよね。</p>
事務局	<p>そのためにこのスケジュールで行っております。</p>
委員	<p>部長がもっと遅くてもいいと言ってくれたが、委員長も、予算に反映するのだったらやはり10月には終わりにしましょうと形でやったわけだから。</p>
委員長	<p>そういう意味では、来年は早く始まれば、もうちょっと余裕を持って話をもっていけるということになると思う。</p> <p>実施計画の見直しというのは、どのようにやるのかというと、予算要求前に付け加えるとかあると思うが、それにぎりぎり間に合えばいい。今度</p>

	<p>のものは、8月いっぱい9月いっぱいかかってもいいのかもしれない。それは、そちらのスケジュールに合わせてください。</p>
事務局	<p>議会もあるので何とも言えませんが、9月中に次回の評価の結果が出れば、予算編成の説明が10月の初旬なので、その説明に合わせて結果を踏まえて予算を編成するという話にできると思います。</p>
委員長	<p>流れとしていいスケジュールをどう作るかですね。きっちり反映してもらえるのが一番なので。</p>
委員	<p>お話を聞いていると、結局9月は議会があるからあまり開催ができないわけですね。10月上旬くらいまでにこれを決めてもらえれば一番ベターですよという話であれば、正味は1ヶ月ちょっとしかない。</p>
委員長	<p>8月、9月の議会も、部長は当然無理だが、課長も委員会のある日だけだ。また、答弁書の質問の日に当てたらだれも本気で来てくれない。そういう日にあてなければ、大丈夫ではないでしょうか。</p>
委員	<p>委員会もあるし、たくさん質問もあるということであれば、課長や担当は貼り付けなければいけない部分もあるでしょうから、結局9月は半分くらいダメだということですよ。</p>
委員長	<p>決算期なので。それにしても、今言った時期までに終りにするという形で、今回よりは少し余裕をもってできるという。ただ、私はもっと厳しくてもいいと思う。そうではないと我々の意味や価値がない。応援団で旗振りをしているだけでは意味がないので、きちんと行ってあげないといけない。</p> <p>2年目は少し厳しいのではないかとというぐらいやっていると。担当課も少し慣れてくる。今まで私がやってきた事例で言うと、やはり3年ぐらいかかる。3年目にはなんとなく評価される側もする側も慣れてくる。言われて当然だし言って当然となる。1年目2年目あたりは、お互いにならみ合いのようなところがある。それで1年目は甘くやってきたので、2年目は厳しく入っていく。そのぐらいでないと意味がないと思う。</p> <p>日程の話はそのようにして、事業数の話はもう1回整理しないとけないと思う。97事業が全部を3年間でできるのがベストだと思う。97事業の中にはやらなくていいのものもあるかもしれないし、そのことを考えながら2年目を行う。1年目にやったものはあくまでも再評価として見直さなければいけない部分についてご報告いただくだけでよい。</p> <p>今度32事業やると16事業足して48事業やるということになる。48事業の時間はいらぬ。再評価の分は半分がいいと思う。</p> <p>40事業ぐらいの時間はとらなくてはならない。</p>
事務局	<p>今回の対象事業は317事業ですが、平成28年度から継続している事業でありまして、前期5年間の実施計画の提出事業は406事業あります。</p> <p>来年度の対象事業としては、経常的義務的経費だとか、事業費の小さいものを省いていくと、事業数は30前後とかプラスアルファになってくると思う。それも来年度対象にしますか。</p>
委員長	<p>事業が始まっていれば対象でしょうね。平成29年度に事業があるものが対象です。あくまでも評価ですから、終わったもの。ただ、言う方は終わったことではなくて、今どうするのかという話をしてもらうのが適当だと思う。去年までそうだったが、今年はそうでなくてこうだ、とか、同じ方針でやっているのかとか、そういう話だと思う。29年度に対象事業がいくつあるのかという話ですよ。</p>
委員	<p>書式は今年と同じ様な形でしょうか。</p>

委員長	<p>その次に書式の話をしてします。数を決めるのと、もう一つ大事なものは、本気でスクラップした方が良くと思うのが、事務局サイドで悩んで真剣に考えてほしい。スクラップでなくても縮小とか。日本の国の予算みたいに何でも後から増やすだけで動きがとれないように大きくなってってしまうという訳にはいかない。</p> <p>国は日銀がお札を刷ってくれてそれで増やしていける。しかし我々は議決しても、借金を増やせるわけではないから、やはりどこかで潰すとか縮小するというのをはっきりさせなくてはならない。</p> <p>事務局側から具体的に出してもらいたい。それを対象にすると。こういう顔ぶれだけの時に、こういう事情だからこれを縮小したいとか、これは止めるなり切り替える方法を考えたいというのを、具体的に言うてもらおうとこちらはやる気になる。それがないとこれをやっている意味があまりない。担当課が反省したり、やり方を考えたりというのはとても大事だが、実質的効果は何を潰すか何を減らすかということに行くと思う。</p>
委員	<p>調査票と計画書と同じような重複したような文字がたくさんでている。上の方はほとんど同じですよ。結局、結果を見たい。本来だったら、ぱっと見てDOの当たりが、一番必要性がある所だと思う。</p> <p>もう少し見やすくしてもらいたい。同じ事を書かなくてはいけないのかもしれないが。事業費の書き方に統一性をはかってもらった方がいい。</p> <p>確かに説明を受ければそれぞれの必要性だが、そういうことではないのかなと思います。</p> <p>あと入っている部分と入っていない部分がある。予算、決算のところ。振り分けとか分かりませんが、あくまでもその課の職員がそこに該当するのであれば、全て入っていないといけないと思いますが、入っていないのが結構ある。統一性を図っていただければ。一番は、この文言ですよ。上のほうではいい点数をとっているのに、費用対効果、効率性のところでぐっと低くなってしまう可能性もあるので、整合性がどうかとってしまう。</p>
事務局	<p>現在事務局で検討している書式の修正内容は、様式には1つか2つしか入らない目標指標をについて、担当課ではシステム上で4つくらい目標指標を入れているところもありますので、今度は評価対象になった事業については、目標値をすべて確認できるようにしようと思っています。</p>
委員	<p>目標指標は数字で表せるものしか設定できないのですか。</p>
事務局	<p>今回は成果指標という形で話しはしましたが、なかなか入れきれない部分もある。</p>
委員	<p>ありますよね。数字だと1番わかりやすいというのはありますが、数字で出せない質的な部分というのを織込めたほうが良いと思う。具体的にこうしたらいいというのは言えないのですが。単位がつかなければ目標指標にならないのかと言われるとそうではない。</p>
委員	<p>子どもの教育のあたりは。</p>
事務局	<p>国の方でも成果指標、KPIという言葉を使っていてそれが結構大きい。</p>
委員長	<p>あれは、要するに数字だと上に来れば良い悪いで、中身を見ずに判断しようと思うからああいうことになっている。本来はやはり中身がどう捉えているかということなので、それを数値化しようと思うとなかなか難しい。そこが行政の本当の仕事だと思う。今総合計画でも、なんでも数字にしたがる。あれは違う気もします。量じゃなくて質を求める時代に入って</p>

	いるわけだが、質の評価はなかなか難しい。そこは何か表現のしようがないかと思う。
委員	質の評価も5段階評価で結局数値的評価になるのですよね。難しいですけど必要ですよ。量と質。
委員	今のところだと、質的なところが現れている部分は表の中でどこですか。
事務局	目標指標の設定自体、今まであまり目標設定することに慣れてないというのもある。
委員	こうやっているという、アピールするところを書いていくのが伝わると思う。
委員	今更こんなこと言って申し訳ありませんが、事業の目的が例えば子供達の学習意欲の向上を図るといった目的なのに、目標指標が正答率を上げるというのになってしまう。目的に対する評価というか。しょうがないのかなと思ってずっと見ていました。
委員	目標指標の設定を無理に作っていると、それを上げることにばかりが目的になってしまうのでそれは違いますよね。お金を出せばいいという話ではなく手もかけなくてはいけない。その辺の部分がどうしたら表現できるのかと思いつつ聞いていた。 例えばアプリの話。お金を出しているのは分かるが、後で見直しをしていくという部分が目標指標にはなかなか見えてこない。今の方式だと表れてこない。
委員	具体的な評価が、評価理由にも選ぶのだと出てこない。せめて評価理由か自由に書けるようにしてほしい。
委員	評価理由のところ少し書いてもらえれば、こういう要望を取り入れてやっているとかそういうところが分かるかもしれない。
委員	これソフトでできているのですよね。
事務局	今回システムを構築しました。 システムの手直しはできますが、活動指標で、見直しをやっていくのを設定するとか、ママフレなどのアプリの事業でも、担当課で今まで目標を作ってきていないので、ヒアリングの中で協議して設定しているので、なかなかまだ慣れてない部分がある。
委員	むしろ自由記述欄が5行くらいあった方がいい。書けなければ無理に書く必要はありませんが、こういうところに力を入れて取り組んでいる、去年指摘された部分に対してこういう工夫をしましたというのが分かるという。
委員	そういうのを含めて、この1年目の課題ですよ。これを生かしてきてない。
委員	作る場所に力が入ってしまっていたのでしょうか。
事務局	全ての担当課に実施計画書の作成を依頼し、膨大な作業をお願いしている。実施計画書を作成すれば評価のシートのほうも合わせて作成できるように簡素化したところ現在の様式になっております。
委員	1回作ってみたいと感触もつかめないですよ。
事務局	説明会時に担当課にはお願いはしたのですが、ほとんどこの事業の目標が上がってこない。それをヒアリングの中で、まず目標を立てましょうということから行っております。

委員	質という感覚を持っていただけるといいと思います。
委員	今年一度やったので来年からは。
委員長	この評価には何が課題なのかを具体的に言える部分が少ない。具体的に課題を書かせるぐらいがいい。何かあった方がわかっていると思うし、課題がないということはないでしょう、という話にもなると思う。
委員	現状抱えている問題点を書いてもらったらいと思う。なければならないでいいと思うが。それを含めて全体的なゴールに向かっていく。
委員	委員長が今年は甘かったとおっしゃっていたが、私も反省するところがあります。例えば今後の改善計画の箇所も、ただ文章化で終わっている。具体性もない。本当は聞きたいところです。来年はさらに。ただ埋めればいいというものではなく。
委員	担当課はまずいと思ってやってないからこういう表現になる。そこまで考えているにしても、自分の課の自分の事業はそういう形で進んできている。
委員	だから外部評価の意味もあると思う。
委員	アクションのあたりで、委員長がおっしゃった現状の取り組み方法の具体的な理由ばかりじゃなくて、自分達はこのように改善していきたいとか、こういうところを改善すれば事業が良くなりますよとか、そういうのも含めて書ければいいということですよ。アクションのところの欄で見直してもらえばいい。
委員長	ここは、現況の課題とそれに対する対応策ですよ。
委員	今はそうではなくて、自分達のやっている仕事はこんな感じでしたということではない。
委員	あまりにも概念的な表現すぎる。
委員	その辺の所に追記して、課題も合わせるということにすれば、●●委員がおっしゃったことも網羅できますものね。
委員長	しつこくやっているところだと、現況課題と将来の方向性の課題と2つ書かせるところもある。今課題になっていないが、これが必ず課題になるだろうというのを書きなさいというものもある。
委員	そうしたほうが評価的にはより良い。
委員長	分かっていて、じゃあどういう方向をとっているのという議論になる。
委員	空き家の事業などは、ぼろっと出てきてしまった。
委員	ヒアリング時に登記上の問題だと言って終わってしまうから、そうでないという話です。登記がしていないからそれができない。それなら空き家の対策事業をしたところで意味がない。
委員	緊急性の課題、重点ポイントの認識は大事ですよ。そういうのも意識がどこにあるのかというのを知りたい。
委員	何年以内、というような形で具体的に欲しいですよ。
委員長	今の話は大事で、計画の時は、少なくとも3年でけりをつけるとか、これなら5年かかってしまうとか、これはもっと大きな話なので10年スパンでやりましょうとかいうのを選ぶものもある。それは単年、3年、要するに、単年契約期間、上期計画期間、総合計画期間という選び方で、総合計

	<p>画の目標を入れるときにそれを設定するところもある。</p> <p>そうすると、それはなぜかという理由が書かれている。全体は5年だけど、これとこれは1年、これは3年とか、そういう整理をするところもある。それはよりわかりやすく具体的です。1年で解決するのは、この年とこの年とこの年で、毎年1つずつ解決していけば、この順番なら解決できるという計画を立てるところもある。それは素晴らしいと思うが、なかなかそうはいかない。そのぐらいでないと、世の中の流れには間に合わない。</p>
委員	<p>1つの事業の目的があったとしたら、目標はいくつあってもいいと思います。目標が達成できる、5つだったら5つ。それで全体が目的達成に向かっていくというところで、無理に目標を1つにとってもきついものがあるかと思う。</p>
事務局	<p>今回示している資料は、実は計画書1枚、評価調書2枚で収めている。委員からあった意見を計画書に表現できるよう検討します。</p>
委員	<p>本来的に大きな事業の目的だったら、目標がいくつものなければ達成できないと思う。認識改革も必要。</p>
委員	<p>一番目標が立てやすいのは今回の評価だと、徴収率などですね。あとは事業によってはどうしても難しい。</p>
委員	<p>下水道の配水管事業などはシンプルですね。</p>
委員	<p>加入率をあげましょうとか。</p>
委員	<p>事業によって全然違う。</p>
委員	<p>評価理由のところも、事務局の方である程度理由を示しているから書けたようなもので、自分達で書きなさいっていったらなかなか難しかったかもしれない。</p>
委員長	<p>ただ、全然違うものもそのまま書いてしまっている。</p>
委員	<p>話を聞いていると、時間もないし、これに当てはめてくれればという話ですね。一番楽な方法ということで。これだけだと表現的におかしい部分があるということだから。</p>
委員	<p>女性が目標をたくさん出した方がいい事業も確かにある。市民協働課の様な事業は、たくさん目標があった方がいろんな考えが出てくると思う。担当課の方の説明を聞いていると、目標値を出して説明をするというだけで本当に大変だなということがたくさんある課もあった。</p> <p>今、●●委員がおっしゃったように、課題も書き込んでいくというのも大事ですが、目標値を定めて現況をやっているところをすべて来年の外部評価の時に、今まで取り組んできたが今はこうだという課題だけでも具体的に示していただければ分かりやすいと思う。</p>
委員長	<p>他にどうですか。進め方としてはどうですか。やはり担当課が工夫して分かりやすい簡単な資料を作ってもらって、それで説明を聞いてから、こっちも入っていくという方法しかないですね、やり方としては。</p>
事務局	<p>事業によってはあまり評価の時間が長時間にわたってしまった事業もあった。次回からは今回評価した部分をまず改善したところを説明してもらって、さらに別の事業の評価をしていただくと、一日の時間がかかりかかる気がします。</p>
委員長	<p>今まで以上に効率的にならざるを得ないですね。私が行った経験だと2年目の見直しの文章を出す。それで最初もめる。</p>

	<p>3年目、4年目になるとそれがだんだん少なくなってくる。要するにきっちり見直されてくる。最初はなかなかきっちり見直されない。当然それは想定できますよね。今やって、来年度予算にどう反映していこうかというのをやる。それは必ずしも予算で反映したからと言っても、調書そのものが今やっている中身なので、それが途中からでも見直しましたと言え、こちらも言うことはないけれど、そのままどうしてたらやらったのかという話にもなるわけだから、結果済のものを評価するのは、2年目はちょっと難しいかもしれない。その辺も3年目くらいになるとお互いに慣れてくるというか、こっちも納得できるような処理の仕方になってくると思う。お互いに経験ではないでしょうか。</p> <p>さてどうでしょう。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>要望というか、来年また内部評価をされますよね。その時に、達成できた、できなかった、特にできなかった部分に関してきちんと考察というかアセスメントをしていただいたものをお伝えしてほしいと思います。</p> <p>これだけではきちんとしたアセスメントが伝わってこない。資料でもいい。例えば、できなかったのはこういう理由によるものだということや客観的評価。大変でしょうけど、要望したいと思います。</p>
委員	<p>今●●委員がおっしゃったことですが、アクションの内部評価の枠を広げることによって、そういったことも網羅できますか。</p> <p>どこまで事細かにするかはわからないが、もう少し細かにわかりやすくということだと思います。その前の課の取り組みの中に先ほど●●委員がおっしゃったことも入れたらどうでしょうかとお話したわけですから、この枠を広げれば、内部判定もある程度クリアできないでしょうか。どうでしょうかね。あまりペーパーが多くてはよくない。</p>
事務局	<p>この2ページの中であつたものをまず優先的にして他に必要ない所を削りながら検討したいと思っています。</p>
委員	<p>例えば、この上の部分は、計画書にあれば、はしよっても別に問題ないと思います。同じことを書いているわけですよ。</p>
委員	<p>内部評価で課長の評価とか部長の評価とか評価担当の評価がどうなのか載っていてそれで議論するというのもある。なんでこれがAなのかという話でやりとりするのも結構ある。</p>
事務局	<p>一度提出されたものが内部評価の会議において、変更になったということもありました。</p>
委員長	<p>自分達の内部評価がはっきり分かるものも必要かもしれない。それで自分達でAだと思っていれば書き方も変わる、Bだと思っていれば書き方も変わるという部分もあつたりする。</p>
委員	<p>自分の評価に責任を持つということですよ。</p>
委員長	<p>そうです。自分達でこれはもう必要ないと思ったら自分達でCをつけるというのもそれで大事なかもしれない。よくあるのが、Cがついているが、本当にやめていいものかというのも多い。</p> <p>担当課はやめたくてCをつけますが、それを本当にやめてしまったら、他に誰がやるのかという議論になって、Cじゃないでしょう、一部見直しして継続でしょうという話で落ち着くものもある。その辺も、担当課の意向が分かる部分もどこかに出てくると、分かりやすくいいかもしれない。割と面倒で成果が見えないような仕事はやめたがっている部署も多い。あまりにそこに手をかけてはいないが、事業としては残ってしまっていて、やめたいということでCを出してくる。あなたたちがやらなかった</p>

	<p>ら他に誰がやるのという仕事結構ある。行政は最後の砦ですよ。その最後の行政の砦がやめると言ってしまうと、それで終わってしまう。そこは民間と違う。切られたところに依存するものを誰が守るのかという話。行政の人しかいない。</p>
委員	<p>行政にできないことのほかに、民間でもどちらでもいいですということもある。そういうところは方向性を変えてやっていけば、財源的な負担も少なくなる。その辺りは、今後棲み分けが必要。</p>
委員長	<p>どうでしょうか。だいたい今のような話を来年に向けて事務局で整理していただきたい。後で機会があればお話をするようにします。他の事でも来ることもあると思うのでその時でもご相談できればと思います。 総評の締め切りは2日ということをお願いします。お疲れ様でした。</p>
事務局	<p>次回は、先ほどお話したように、1時集合をお願いします。</p>
委員長	<p>自分の言うことが、他の人と同じかもしれない。その時に、同じ意見だけ付け足して話をする、話が同じなら、2番目の人は1つ外して3番目の人に譲る、その辺の調整をまずしましょう。</p>
事務局	<p>報告書は委員長に提出していただいて、鑑はどうしますか。</p>
委員長	<p>いらないのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>6回目と7回目の議事録をお配りしてありますので目を通していただければと思います。</p>
委員	<p>7日まででは遅いですよね。</p>
委員長	<p>いいでしょう。これは終わってどこでアップするかですが、アップする時点で評価委員会の議事録を同時にアップしなければならないということはない。と少し経ってからでもいい。アップしてないところも多い。後で大丈夫だと思います。 よろしいですか。はい、ありがとうございました。</p>

以上